Allied Telesis　　MOTEX

PRESS RELEASE

平成 29 年 11 月 7 日

報道関係各位

アライドテレシス株式会社
エムオーテックス株式会社

アライドテレシスとエムオーテックス、Secure Enterprise SDN（SES）／LanScope Cat の連携ソリューション第 2 弾をリリース

PC の不正操作やマルウェア侵入を検知し、通信を遮断・隔離

アライドテレシス株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎、以下アライドテレシス）と、エムオーテックス株式会社（本社 大阪府大阪市、代表取締役社長 河之口達也、以下エムオーテックス）は、アライドテレシスの SDN アプリケーション連携ソリューション「Secure Enterprise SDN（SES）」と、エムオーテックスのネットワークセキュリティ統合管理ツール「LanScope Cat」を連携し、セキュリティ面の強化を実現する新しいソリューションを 2017 年 11 月 7 日より提供開始します。

アライドテレシスの「SES」は、SDN 技術をエンタープライズ市場に適応させ、企業向けアプリケーションとネットワークを連携・連動させることにより、ネットワーク運用管理にかかる工数・コストの削減、およびセキュリティの強化を実現します。

エムオーテックスの「LanScope Cat」は、国内導入実績 10,000 社※1 以上、13 年連続トップシェア※2 を誇る IT 資産管理・情報漏えい対策製品です。IT 資産管理や操作ログ管理をはじめ、ファイル配布、各種レポートやマルウェア対策機能など、情報漏えい対策や IT 資産管理に必要な機能をオールインワンで提供します。

これまでアライドテレシスとエムオーテックスは、「SES」と「LanScope Cat」との連携により、IT 関連の運用工数削減を実現する「資産管理情報連携 ネットワークアクセス制御プロビジョニング」ソリューションを提供してきましたが、このたび連携ソリューション第 2 弾として、セキュリティ面の強化を実現する新しいソリューションの提供を開始します。

■　連携ソリューションの特長

「SES」と「LanScope Cat」が持つアラーム機能との連携により、MAC アドレスやコンピューター名の変更、業務時間外の操作、不正な外部メモリーへの書き出し、機密フォルダや不正なサーバーファイルへの操作、不正な Web 閲覧などのポリシー違反を繰り返した端末を、業務ネットワークから一時遮断／VLAN 隔離します。任意の時間内に設定した回数を繰り返したら業務ネットワークへの接続を制限するといった柔軟な設定が可能です。また、「LanScope Cat」のオプション機能であるプロテクトキャットとの連携により、マルウェアやランサムウェアに感染した端末の通信を遮断／VLAN 隔離することが可能になります。

1）　不正操作検知によるネットワーク利用制限

機密情報をデスクトップにコピーする、業務時間外に操作を行う、不適切な Web 閲覧を繰り返し行うなど、不

正操作に該当した端末をネットワークから隔離もしくは、任意設定した時間まで遮断することが可能です。

2） マルウェア検知によるネットワーク利用制限

「LanScope Cat プロテクトキャット」でマルウェア感染を検知した端末をネットワークから隔離もしくは、任意設定した時間まで遮断することが可能です。

▼アライドテレシス　SES アプリケーション連携パートナーおよび連携製品紹介ページ

https://www.allied-telesis.co.jp/solution/applications/index.html

▼エムオーテックス　他社連携製品紹介ページ

http://www.lanscope.jp/cat/products/partner/secure_enterprise.html

※1：当社調べ

※2：富士キメラ総研「2005～2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」の「IT 資産／PC 構成管理ツール」分野